

決算説明会

2014年3月期

2014年5月9日
ミネベア株式会社

1. 業績の説明

2. 経営方針と事業戦略

業績の説明

取締役 専務執行役員 加藤木 洋治

通期売上高、純利益は過去最高を更新

(百万円)	2013年3月期	2014年3月期	前年比 伸び率	2014年3月期計画 (2014年2月修正)	
	通期	通期		通期	達成率
売上高	282,409	371,543	+31.6%	370,000	100.4%
営業利益	10,169	32,199	3.2倍	30,000	107.3%
経常利益	7,673	28,065	3.7倍	26,500	105.9%
純利益	1,804	20,878	11.6倍	19,000	109.9%
一株当たり 純利益 (円)	4.83	55.94	11.6倍	50.91	109.9%

為替レート	13/3期 通期	14/3期 通期
US\$	82.33円	99.76円
ユーロ	106.48円	133.38円
タイバーツ	2.67円	3.18円
人民元	13.08円	16.28円

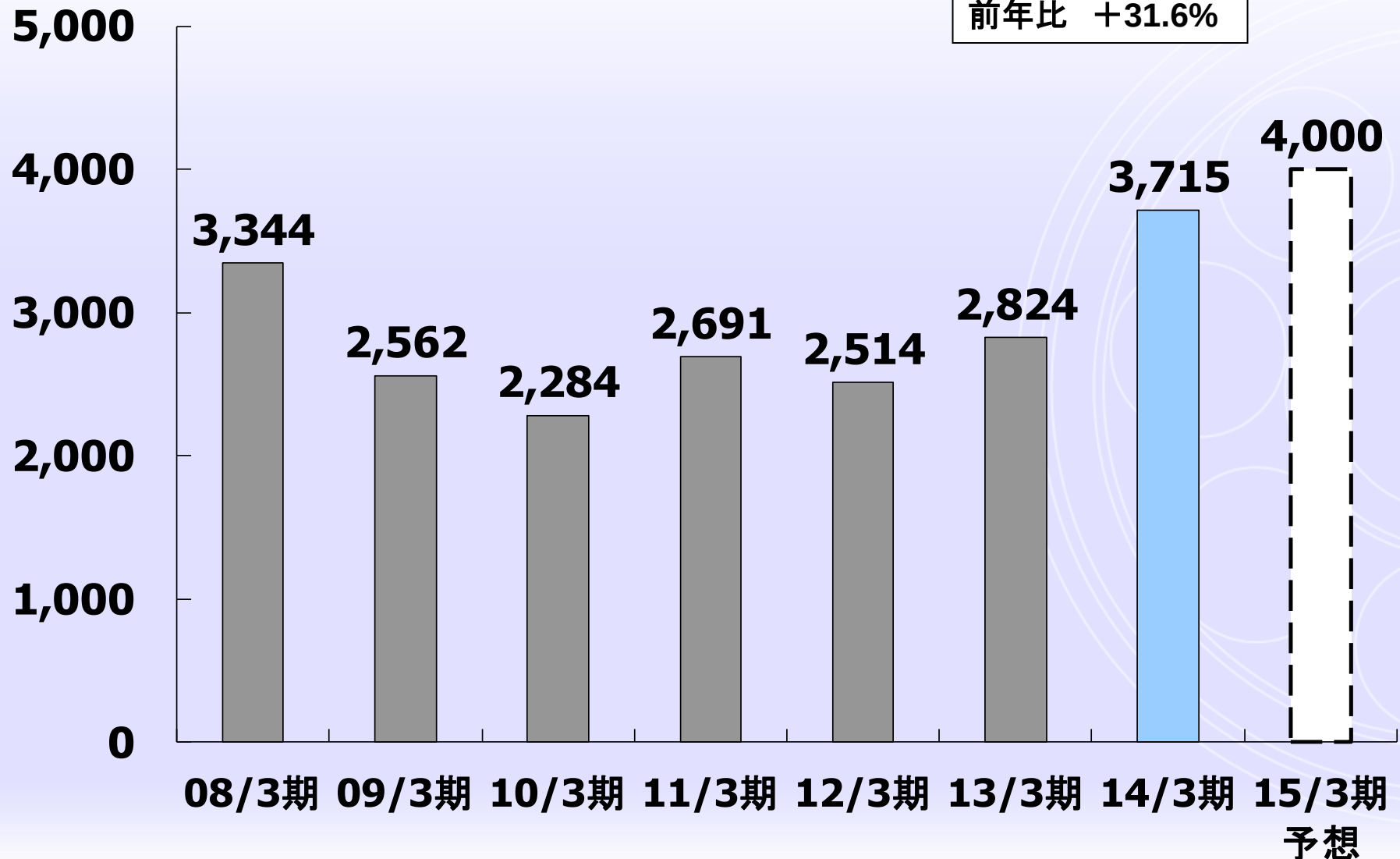
(百万円)	2013年3月期	2014年3月期		前年同期比	前四半期比
	4Q	3Q	4Q	伸び率	伸び率
売上高	71,601	97,135	93,608	+30.7%	-3.6%
営業利益	△474	10,312	8,883	N.M.	-13.9%
経常利益	△1,587	8,370	7,943	N.M.	-5.1%
四半期純利益	△2,992	7,107	4,998	N.M.	-29.7%
一株当たり 四半期純利益 (円)	△8.02	19.04	13.38	N.M.	-29.7%

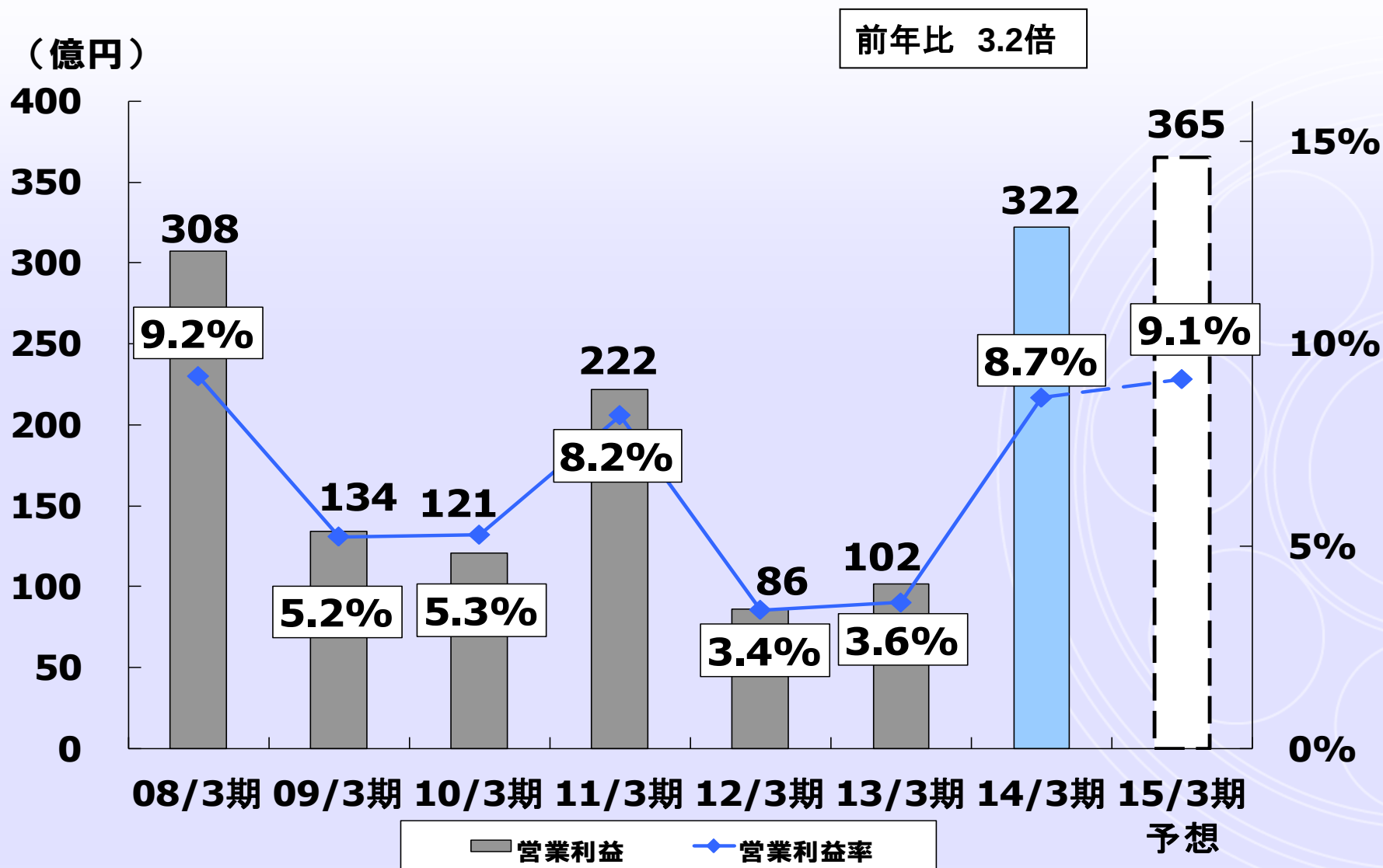
為替レート	13/3期4Q	14/3期3Q	14/3期4Q
US\$	90.08円	99.56円	103.40円
ユーロ	120.02円	135.53円	141.41円
タイバーツ	3.00円	3.16円	3.15円
人民元	14.44円	16.31円	16.96円

売上高は史上最高を更新

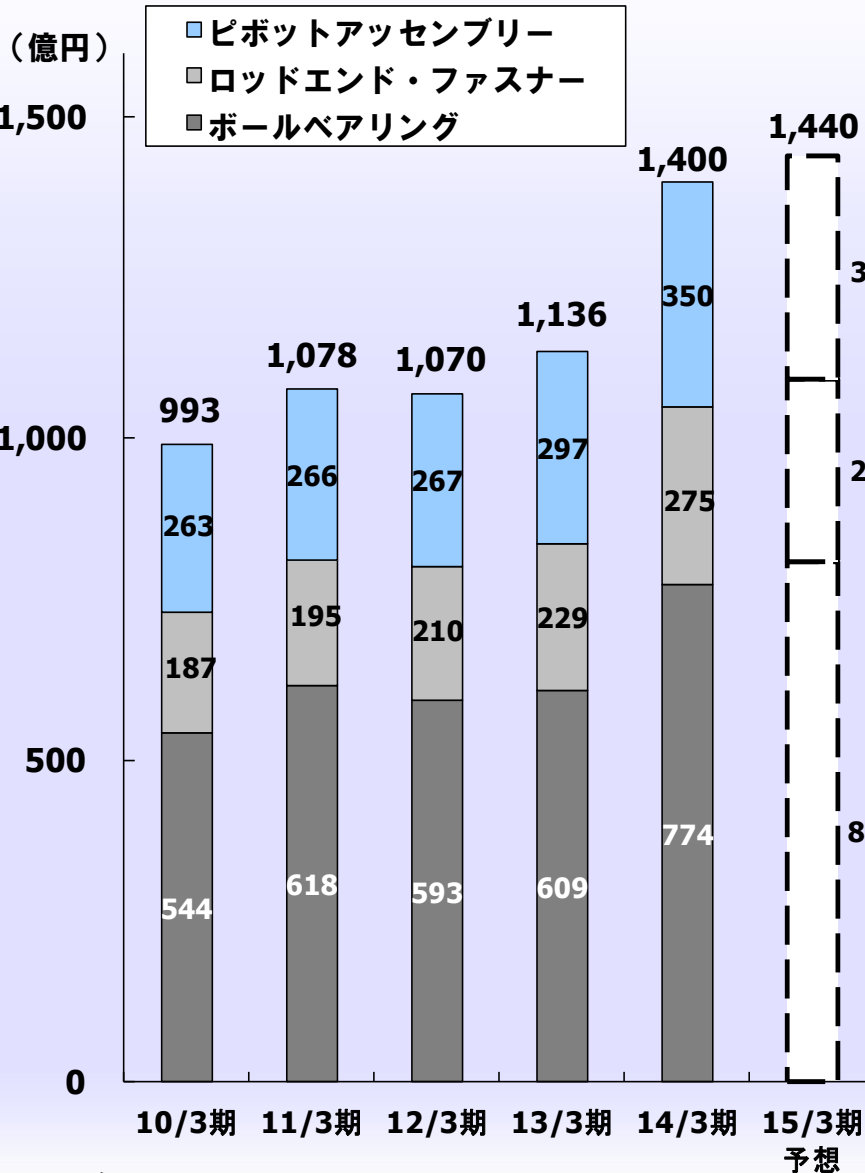
(億円)

前年比 +31.6%



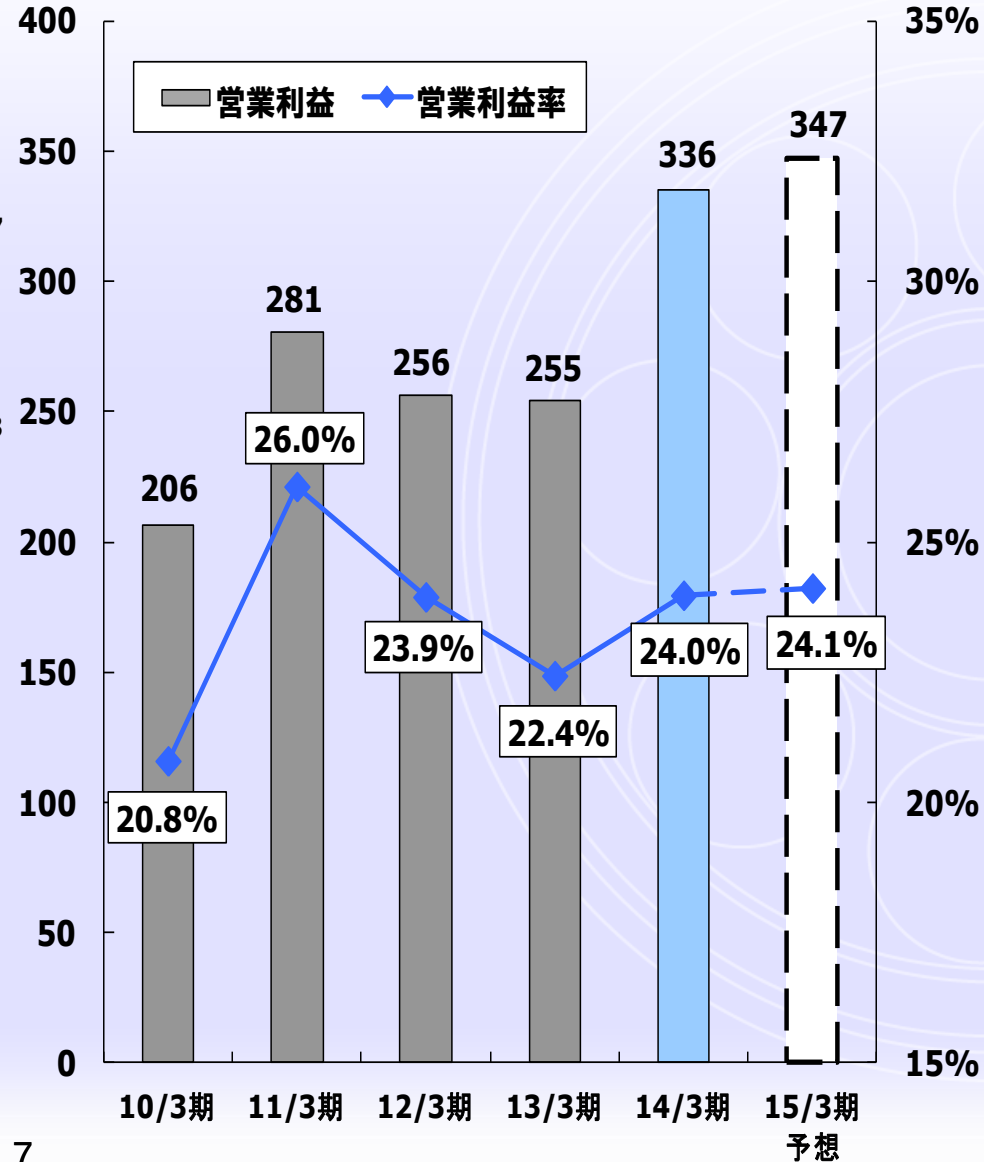


売上高



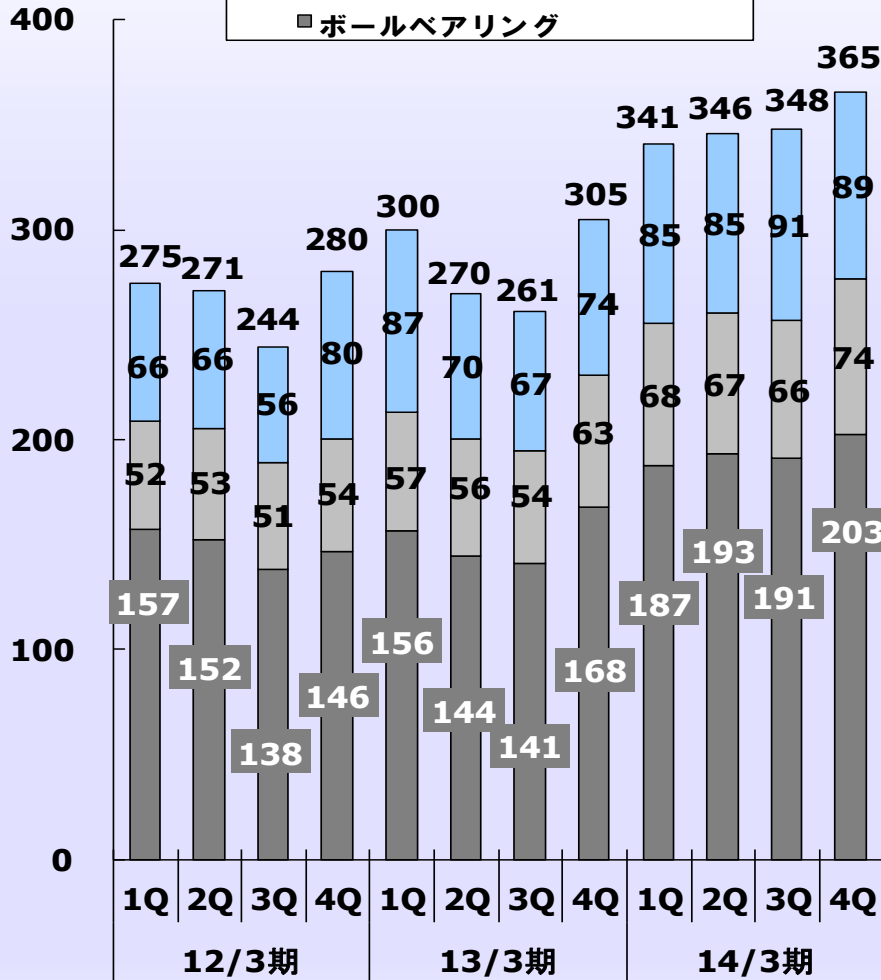
(億円)

営業利益



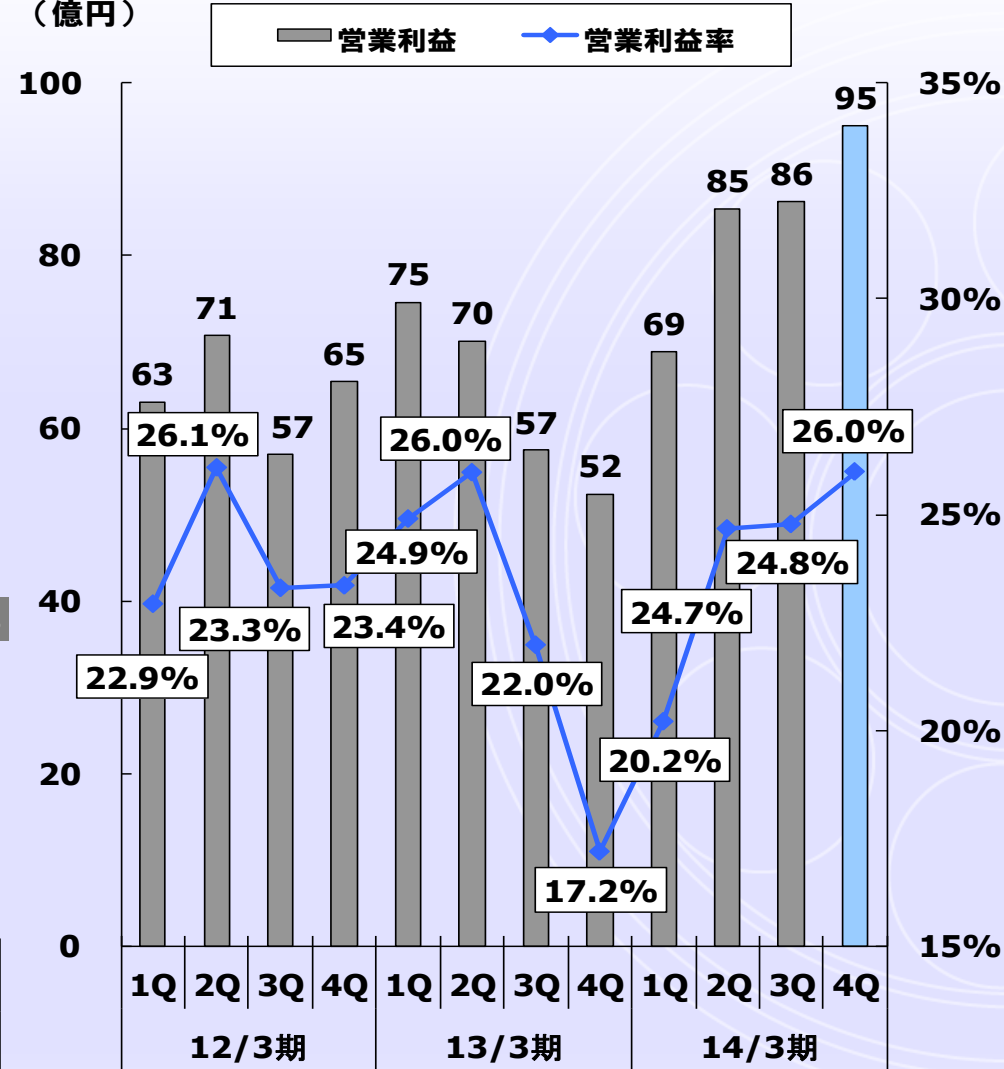
売上高

(億円)

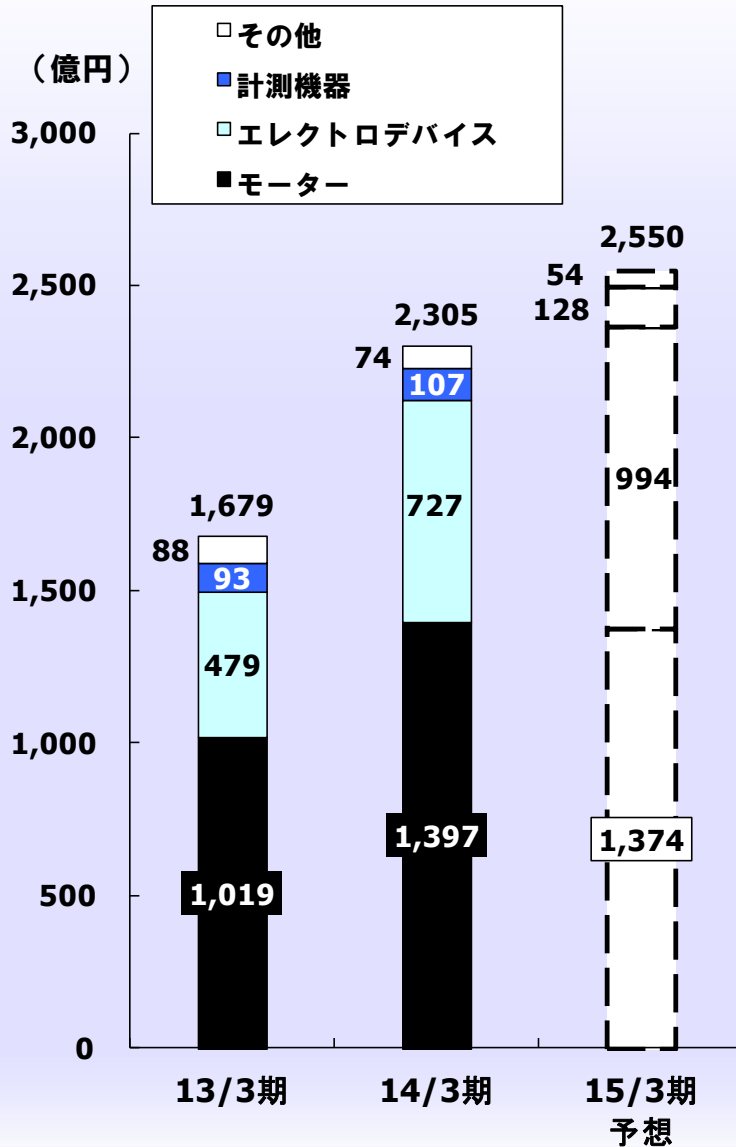


営業利益

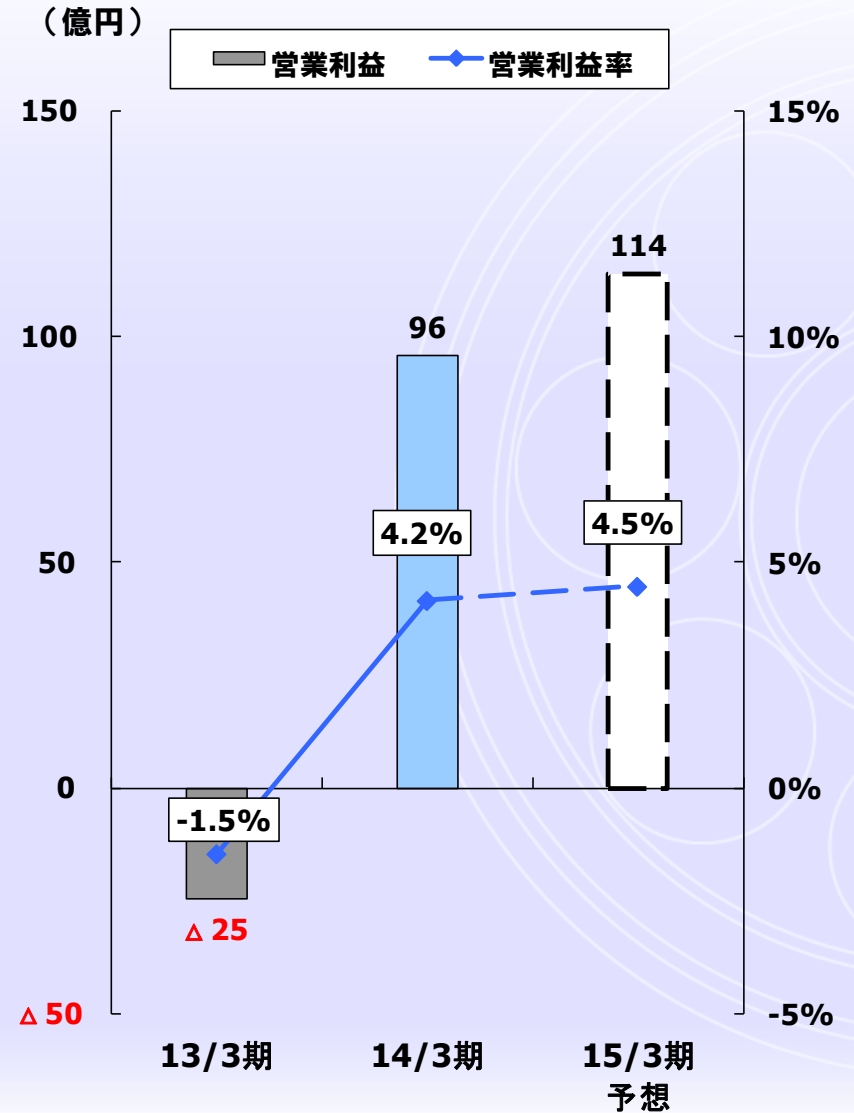
(億円)



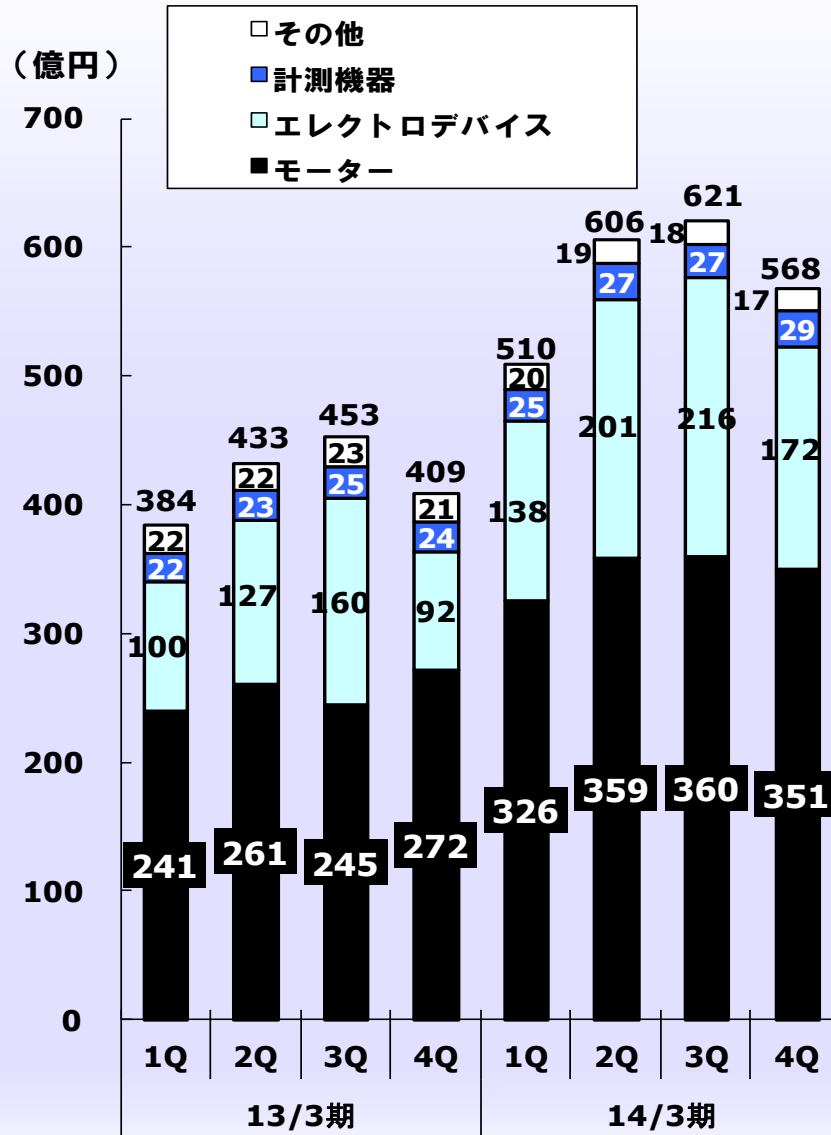
売上高



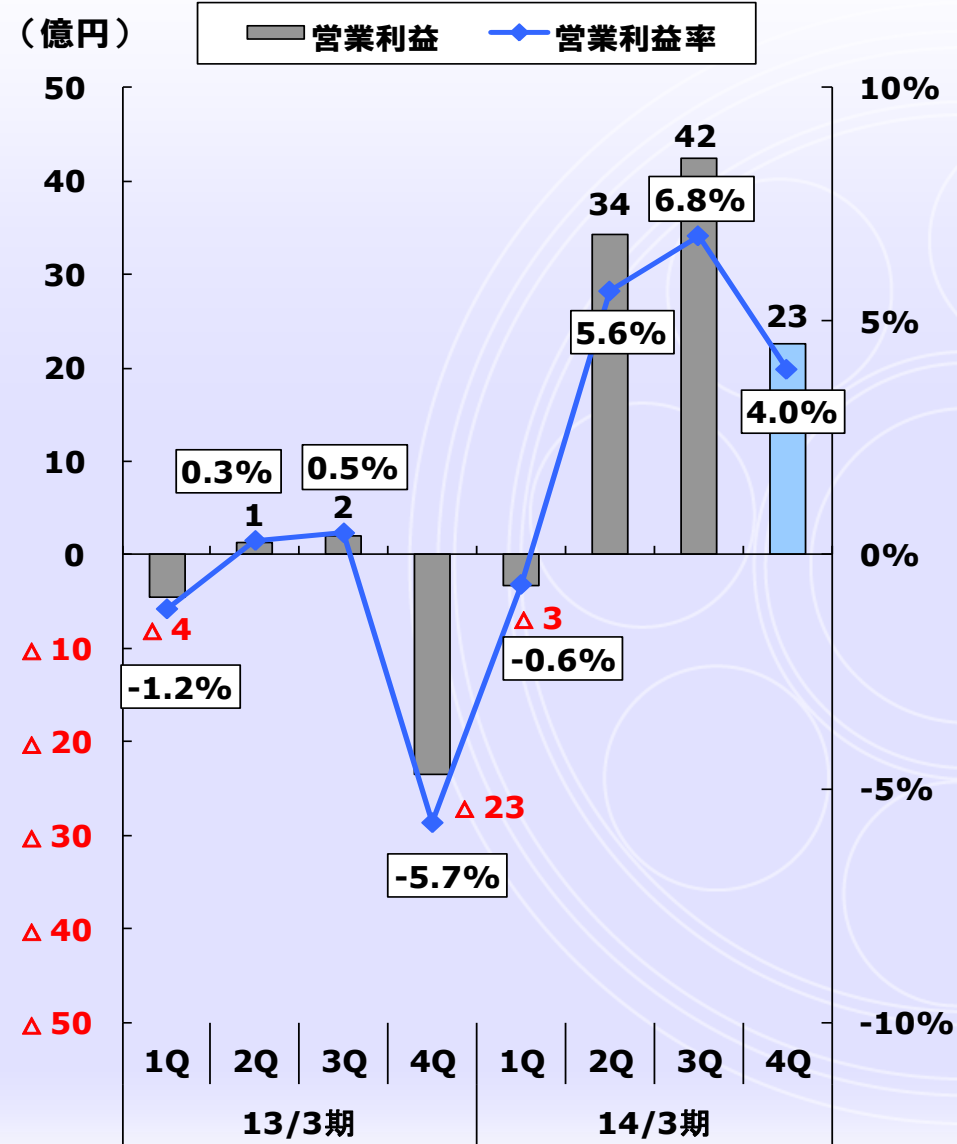
営業利益



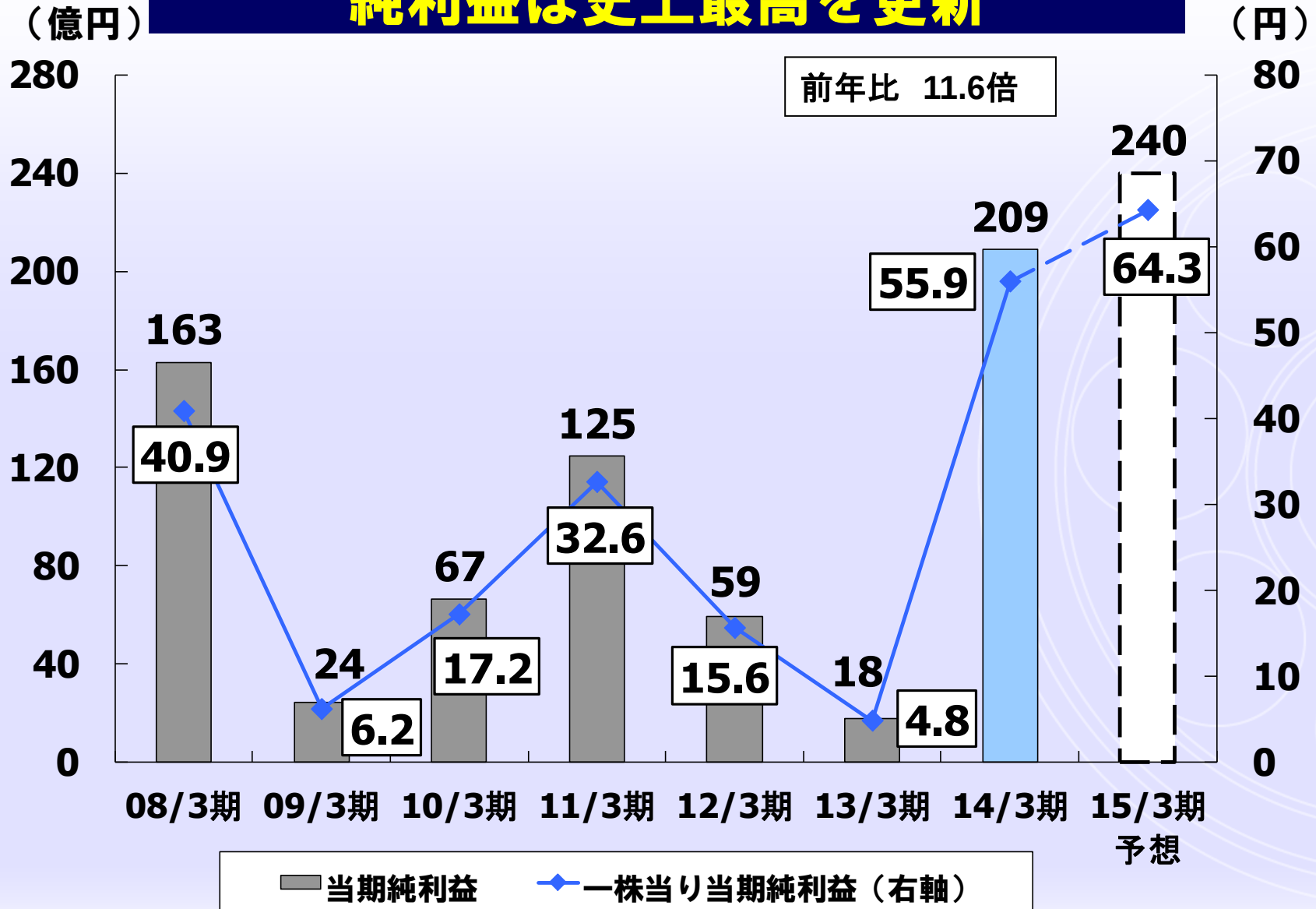
売上高

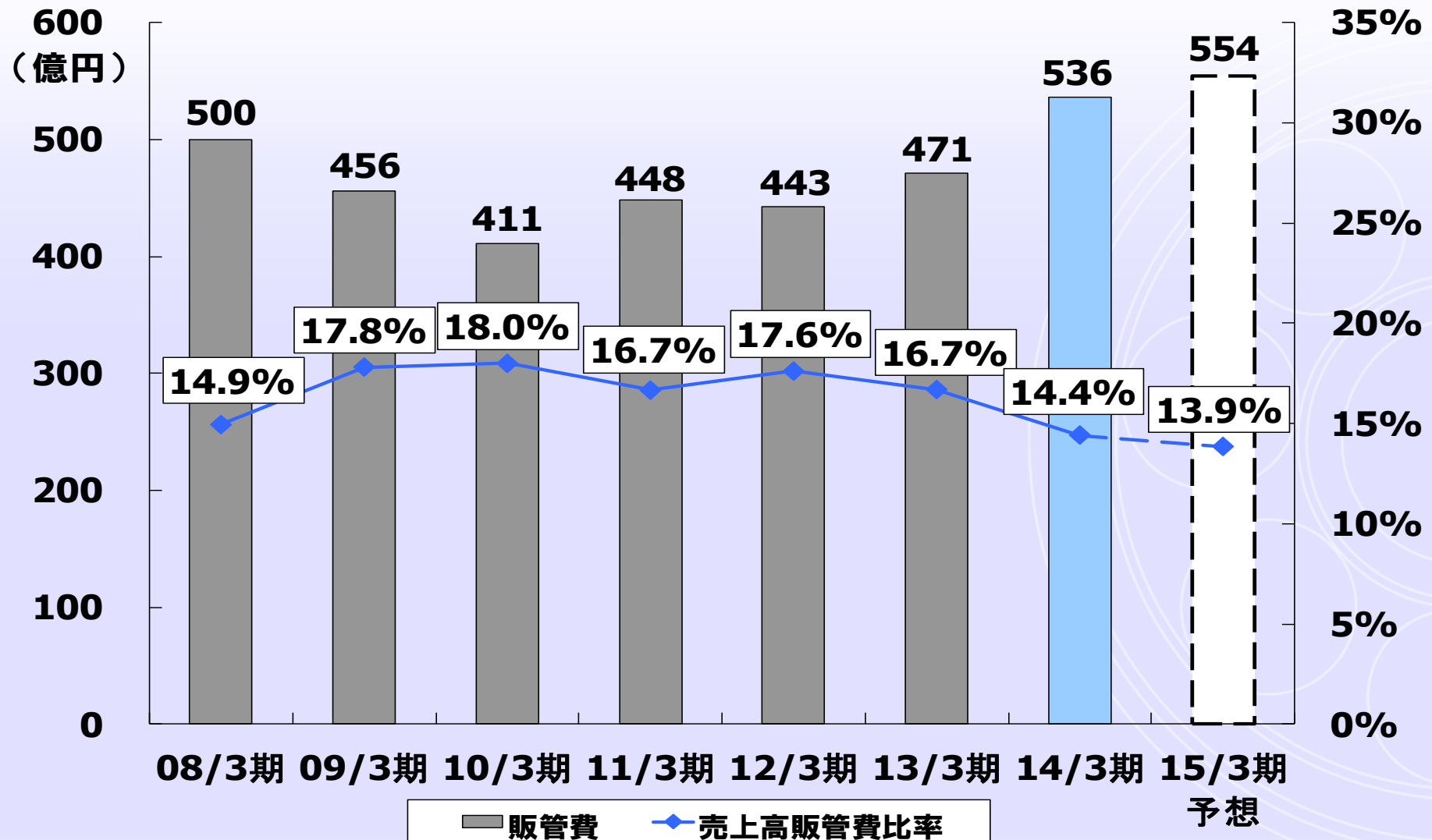


営業利益



純利益は史上最高を更新





(億円)

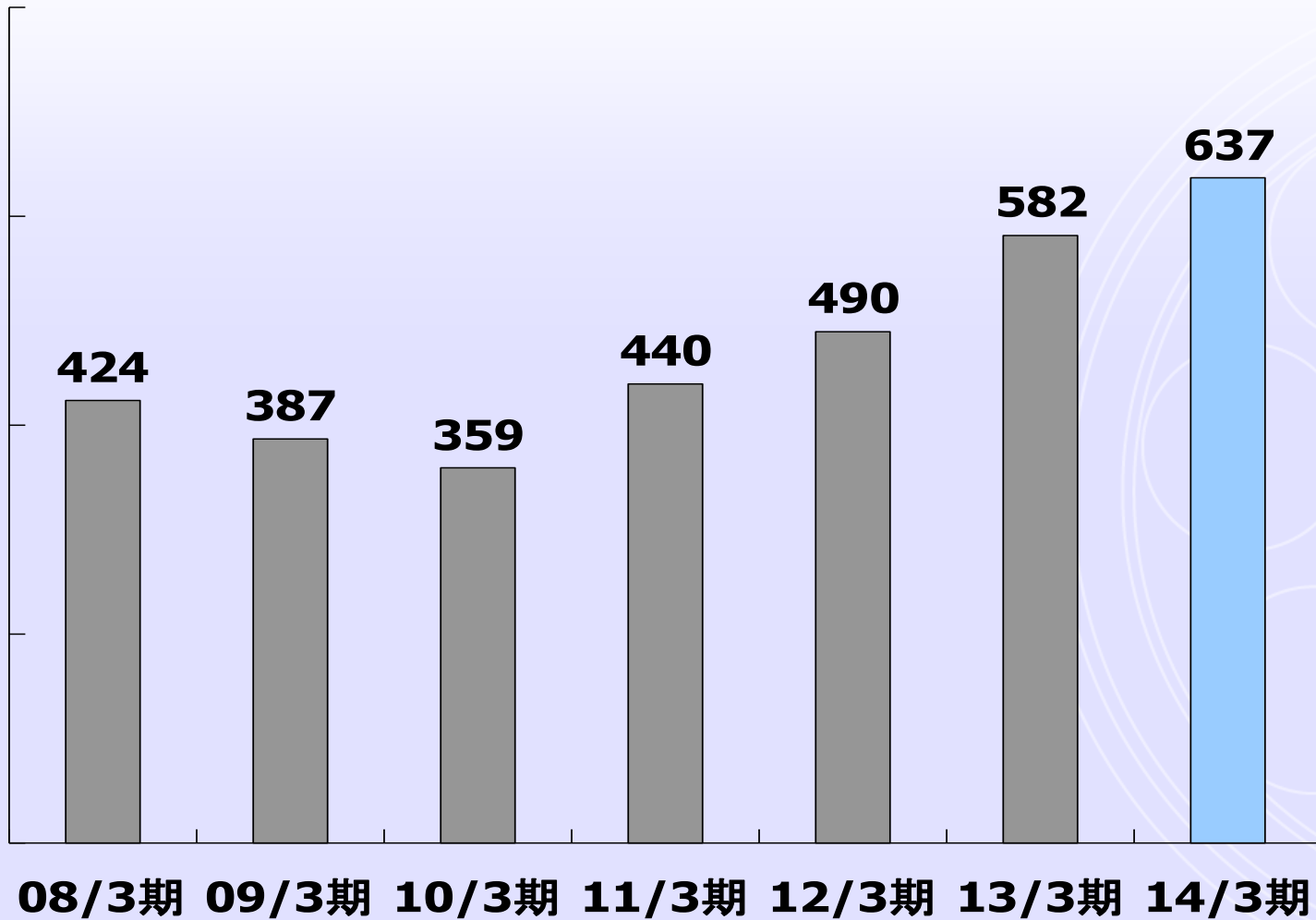
800

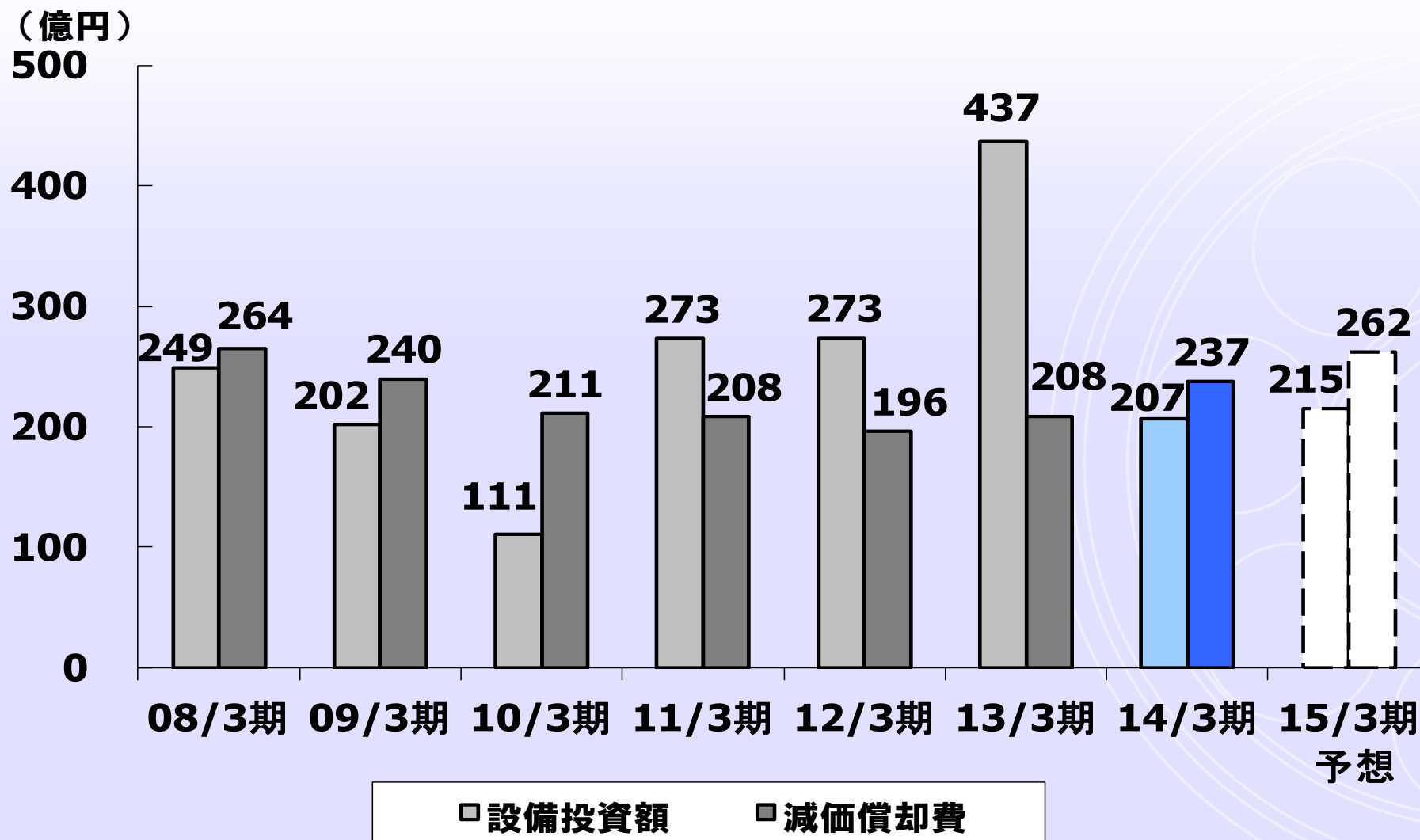
600

400

200

0



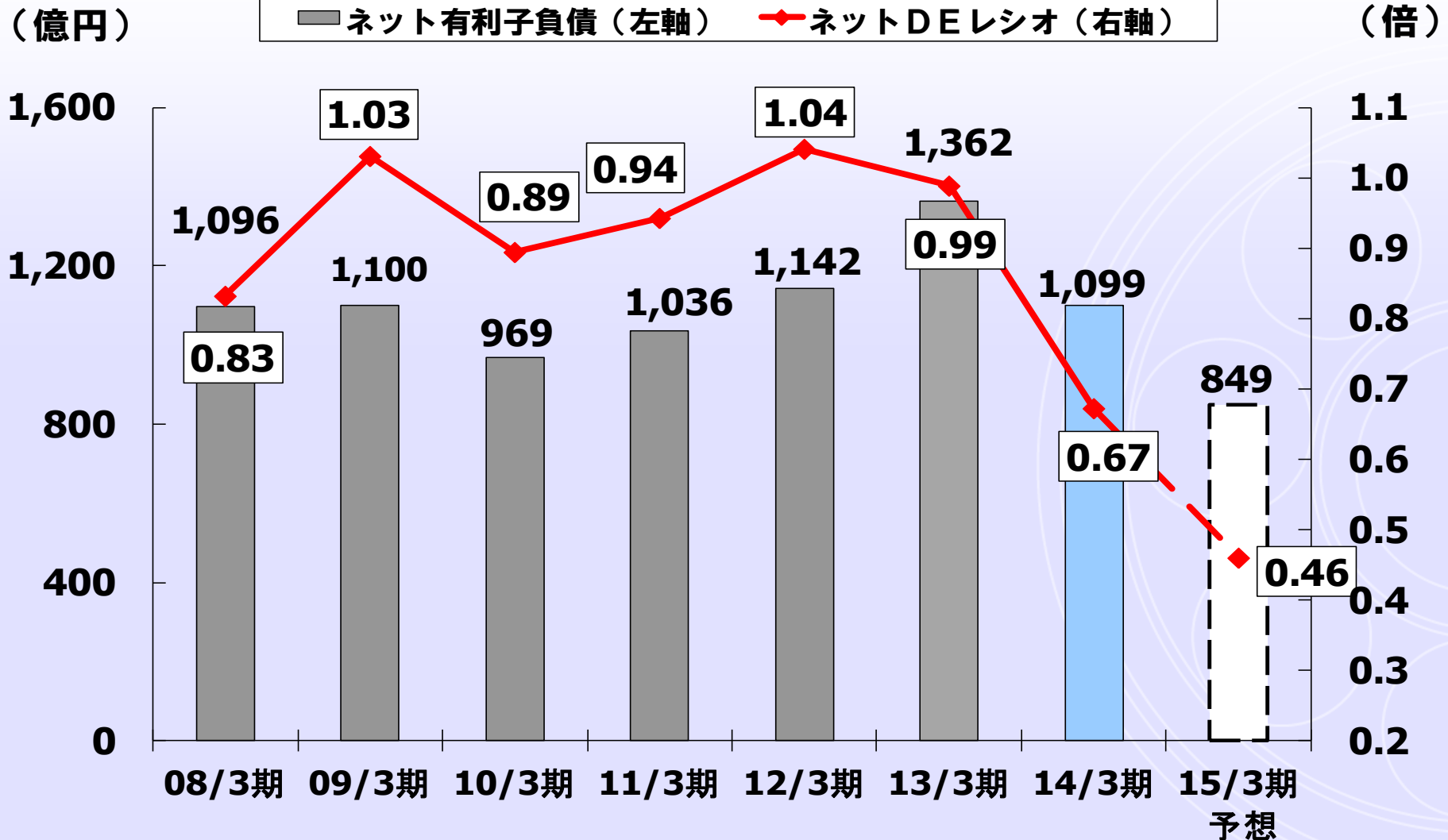


※2009年3月期よりリース会計処理変更に伴い、ファイナンス・リース資産を計上しています。

ネット有利子負債・ネットDEレシオ

年推移

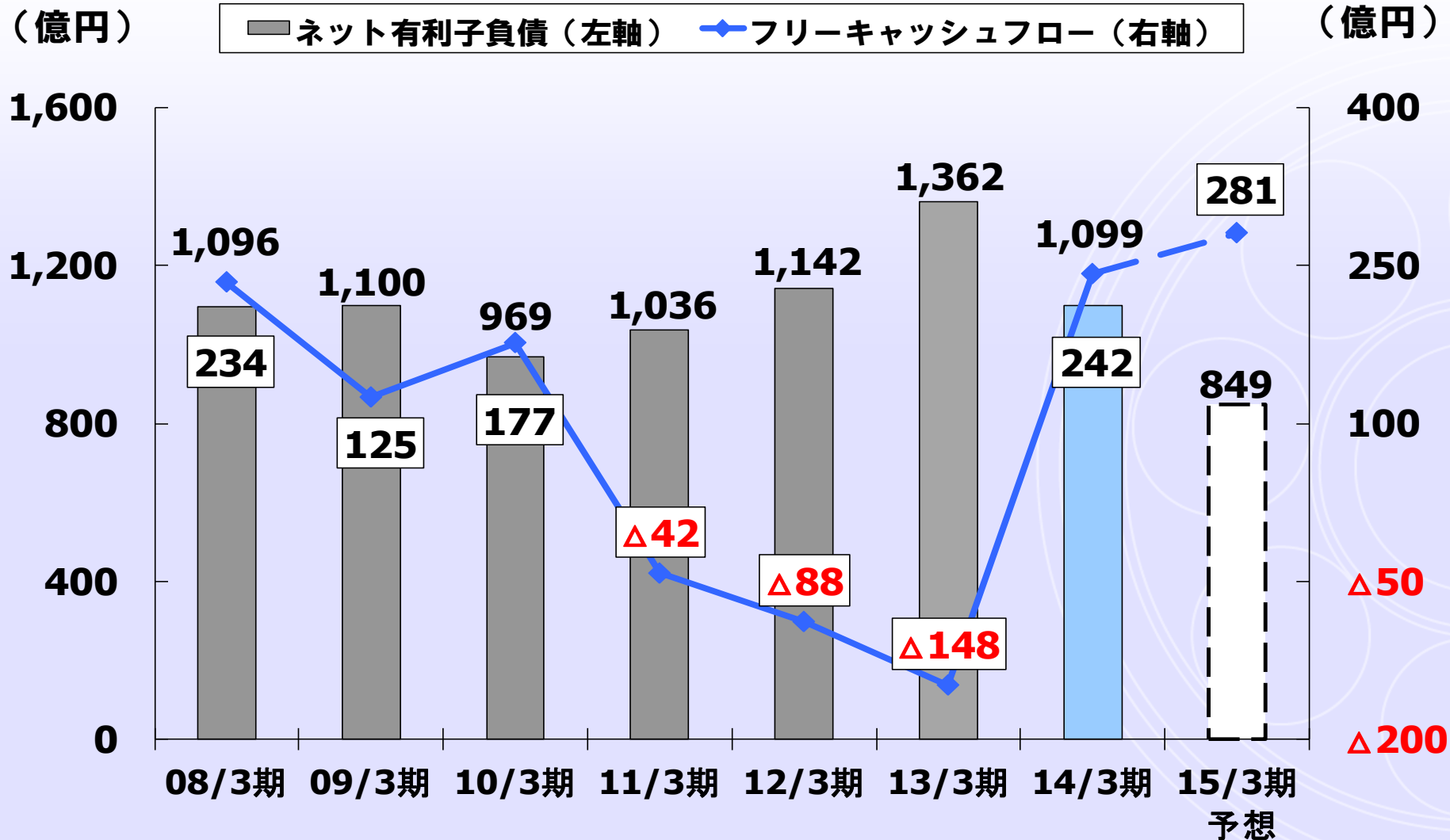
Minebea
Passion to Exceed Precision



ネット有利子負債
ネットD/Eレシオ

: 有利子負債合計－現預金
: ネット有利子負債/純資産

フリーキャッシュフロー・ネット有利子負債 年推移



ネット有利子負債 : 有利子負債合計－現預金
フリーキャッシュフロー : 営業活動CF＋投資活動CF

増収増益が続く見込み 売上高、純利益だけでなく、経常利益も過去最高を更新へ

(百万円)	2014年3月期	2015年3月期予想			前年比 伸び率
	通期	上半期	下半期	通期	
売上高	371,543	196,000	204,000	400,000	+7.7%
営業利益	32,199	17,700	18,800	36,500	+13.4%
経常利益	28,065	16,500	17,500	34,000	+21.1%
純利益	20,878	13,200	10,800	24,000	+15.0%
一株当たり 純利益 (円)	55.94	35.34	28.91	64.25	+14.9%

為替レート	14/3期	15/3期想定
US\$	99.76円	102.00円
ユーロ	133.38円	139.00円
タイバーツ	3.18円	3.20円
人民元	16.28円	16.80円

(百万円)	2014年3月期	2015年3月期予想			前年比 伸び率
	通期	上半期	下半期	通期	
売上高	371,543	196,000	204,000	400,000	+7.7%
機械加工品	140,032	71,200	72,800	144,000	+2.8%
電子機器	230,514	124,300	130,700	255,000	+10.6%
その他	996	500	500	1,000	+0.4%
営業利益	32,199	17,700	18,800	36,500	+13.4%
機械加工品	33,550	17,500	17,200	34,700	+3.4%
電子機器	9,581	5,200	6,200	11,400	+19.0%
その他	866	300	400	700	-19.2%
調整額	△11,799	△5,300	△5,000	△10,300	-12.7%

経営方針と事業戦略について

2014年5月9日

代表取締役 社長執行役員

貝沼 由久

前期実績と今期の業績予想

14/3期は、**4回**にわたり予想を上回る四半期業績を達成

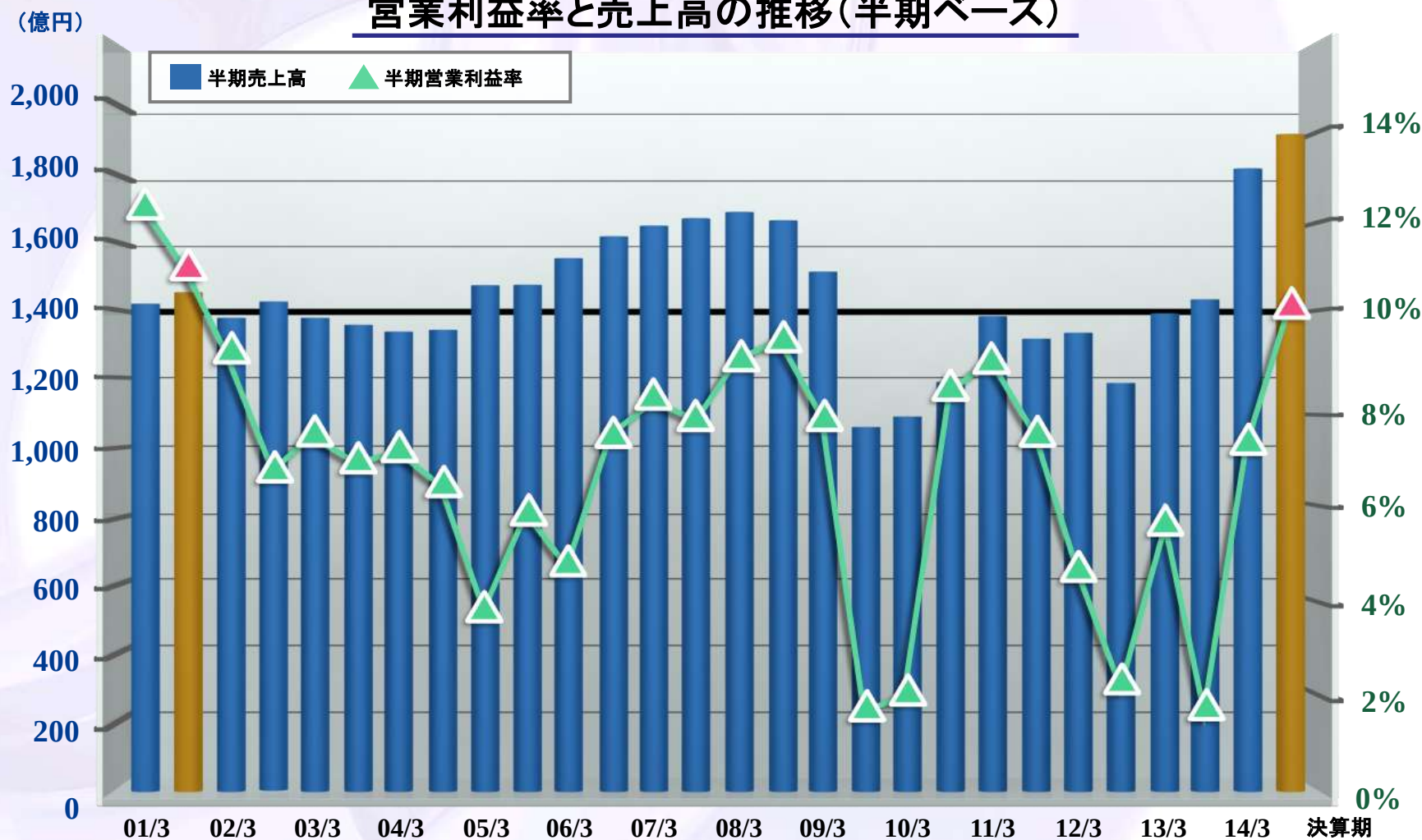
(百万円)	2014年3月期	2015年3月期予想			前年比 伸び率
	通期	上半期	下半期	通期	
売上高	371,543	196,000	204,000	400,000	+7.7%
営業利益	32,199	17,700	18,800	36,500	+13.4%
経常利益	28,065	16,500	17,500	34,000	+21.1%
純利益	20,878	13,200	10,800	24,000	+15.0%
一株当たり 純利益 (円)	55.94	35.34	28.91	64.25	+14.9%

為替レート	14/3期	15/3期想定
US\$	99.76円	102.00円
ユーロ	133.38円	139.00円
タイバーツ	3.18円	3.20円
人民元	16.28円	16.80円

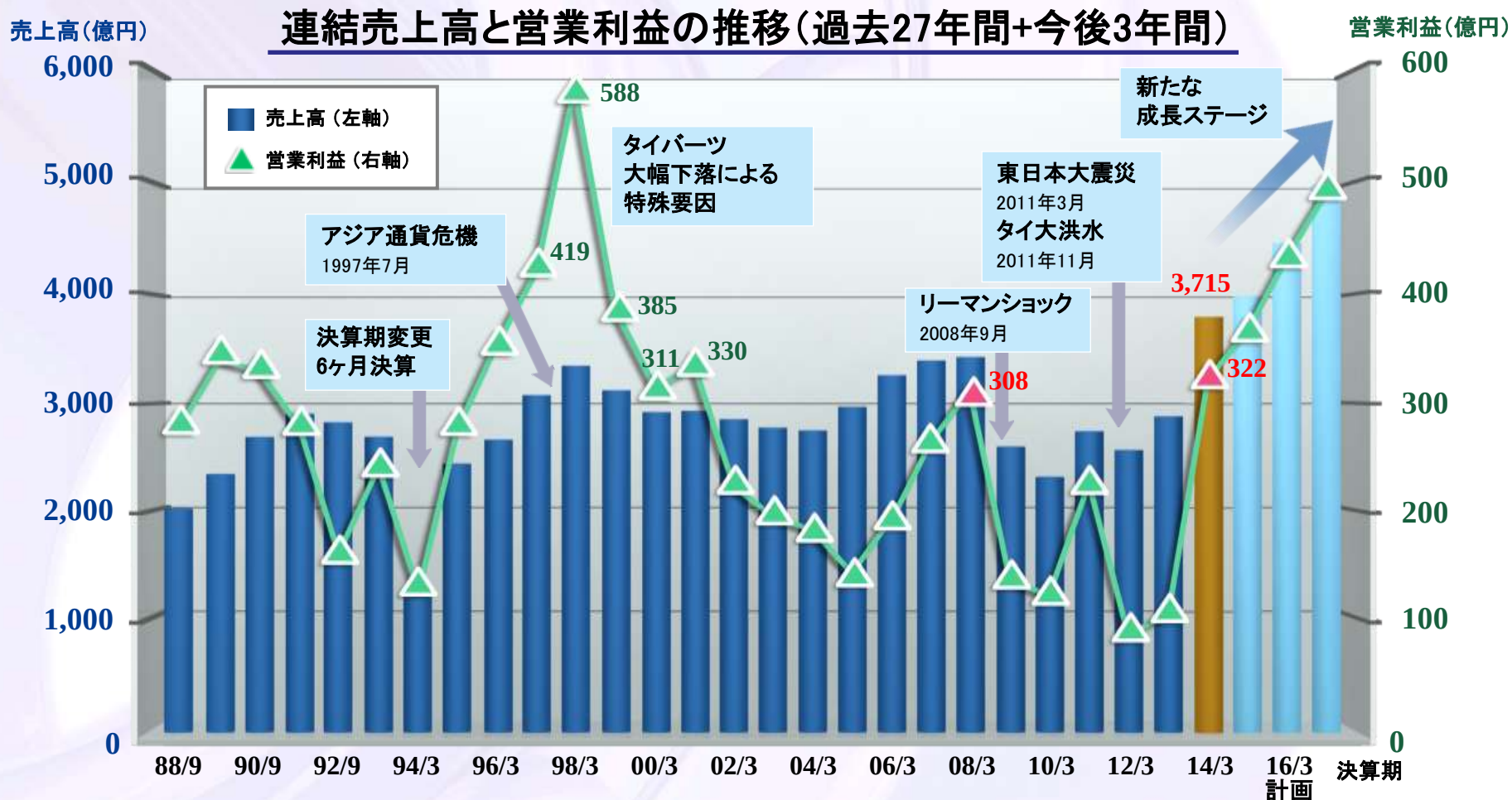
営業利益率半期ベースで10%を回復！

2014年3月期下半期には、営業利益率10%を達成

営業利益率と売上高の推移(半期ベース)



ミネベアは新たな成長ステージ入りに



売上高は過去最高を更新

営業利益はリーマンショック直前の水準を上回る

今後は更なる成長で新しいレベルを目指す

世界経済を上回る新たな成長ステージに

指数(1984年=1.0)

ミネベア継続事業売上高と世界のGDP



注: 継続事業売上高は、過去に撤退した事業を連結売上高から除いた売上高。1984/9期は1408億円。

注: 世界経済成長率は暦年、継続事業売上高は決算年度
世界のGDPは世界経済成長率をベースに指数化
出所: 世界経済成長率はIMF World Economic Database 2013

変化の背景

新興国を中心に世界が豊かになり、高品質、高性能、小型など超精密加工品にシフト

- 例)・自動車での超小径ベアリングの使用個数の増加
・ハイエンドのスマートフォンの普及
・クラウド向け大容量サーバーの需要増加

超精密加工品の需要が拡大

超精密加工品

高い精度が要求されるほどミネベアのシェアが高い

世界経済成長＋高付加価値品シフトで需要増

従
来



第2の風:
生活水準向上で、高品質、
超小型の超精密加工品にシフト

今
後



汎用品

世界経済成長で需要増

第1の風 : 世界経済の成長で裾野が拡大

自律的な成長で、売上5000億円へ！！

今期の売上4000億円は単なる通過点に

世界経済は安定的
と想定すると、、、

機械加工品事業： 着実な利益成長

- ・**ボールベアリング**拡販に注力
- ・**航空機部品**の成長

電子機器事業： 大幅な増収増益

- ・**LEDバックライト**の更なる
拡大と利益率の確保
- ・**モーター事業**の収益性改善
- ・**複合製品**の開発と拡販

新中期事業計画業績目標（単位：億円）



為替前提

102円/US\$, 139円/ユーロ, 3.2円/バーツ, 16.8円/人民元

ボールベアリングの需要拡大続く

世界60%の高シェア

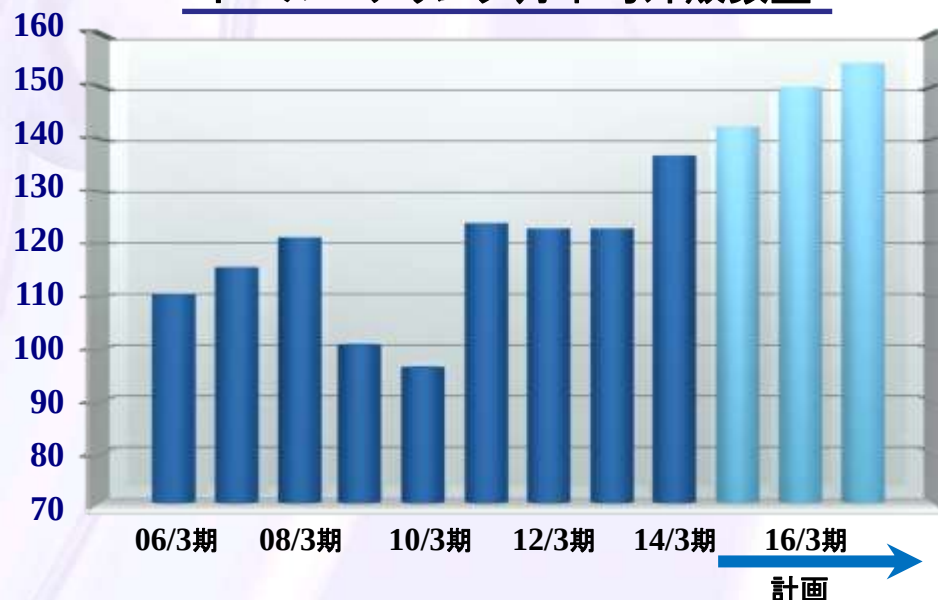
- ・小径及びミニチュアボールベアリングに特化
- ・多岐にわたる用途
(自動車・家電・OA機器等)

需要拡大が続く

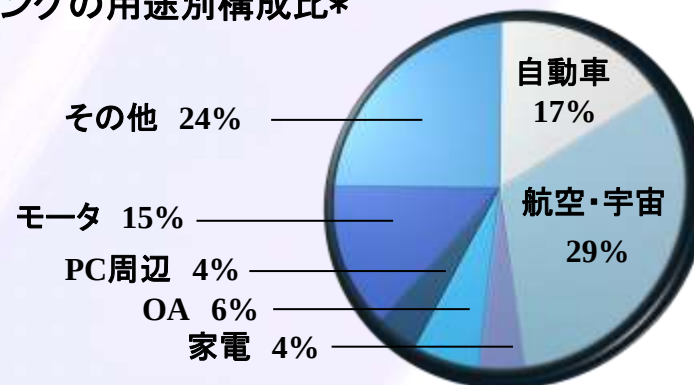
- ・2013年春より全般的な需要拡大続く
- ・外販数量は再び成長軌道へ
- ・自動車のダウンサイジングや省エネ化(電動化)や、クラウドの進展に伴うサーバー用ファンモーターの伸びが需要を牽引中

(百万個/月)

ボールベアリング月平均外販数量

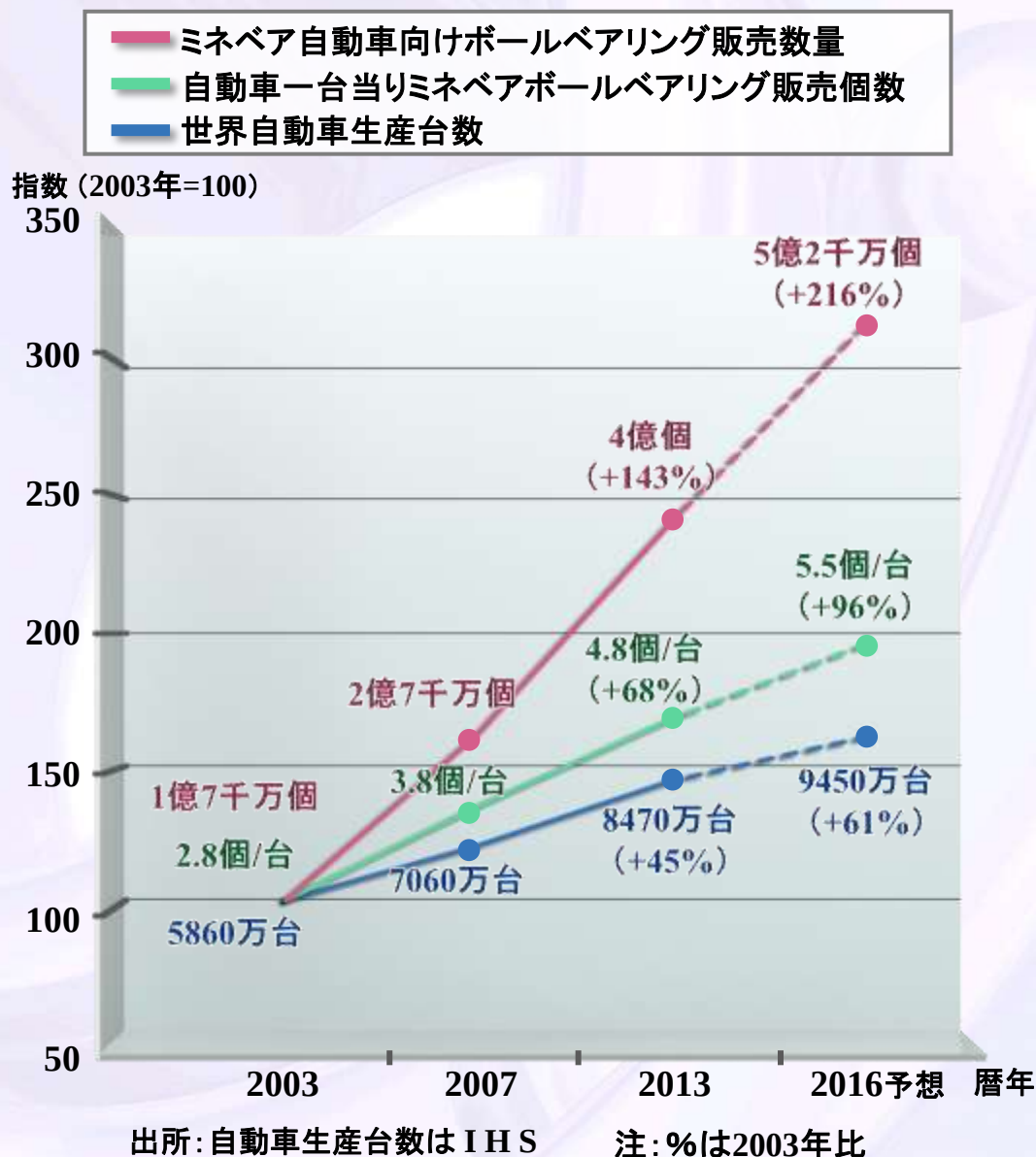


ベアリングの用途別構成比*



*注: 2014.3期通期ボールベアリング、ロッドエンド・ファスナー合計売上金額ベース

ミニチュアボールベアリングの成長(自動車の例)



何故、一台当たり
ボールベアリングが
増えるのか

安全性強化

ABS、パワステ、ワイパー、
光軸調整ヘッドランプ

省エネ化(軽量化)

部品の小型化、カスタム化、
ターボチャージャー

自動車の高級化

ベアリング使用のモータ使用
増大

環境性

EGR(排気再循環装置)

航空機部品事業の売上、収益拡大

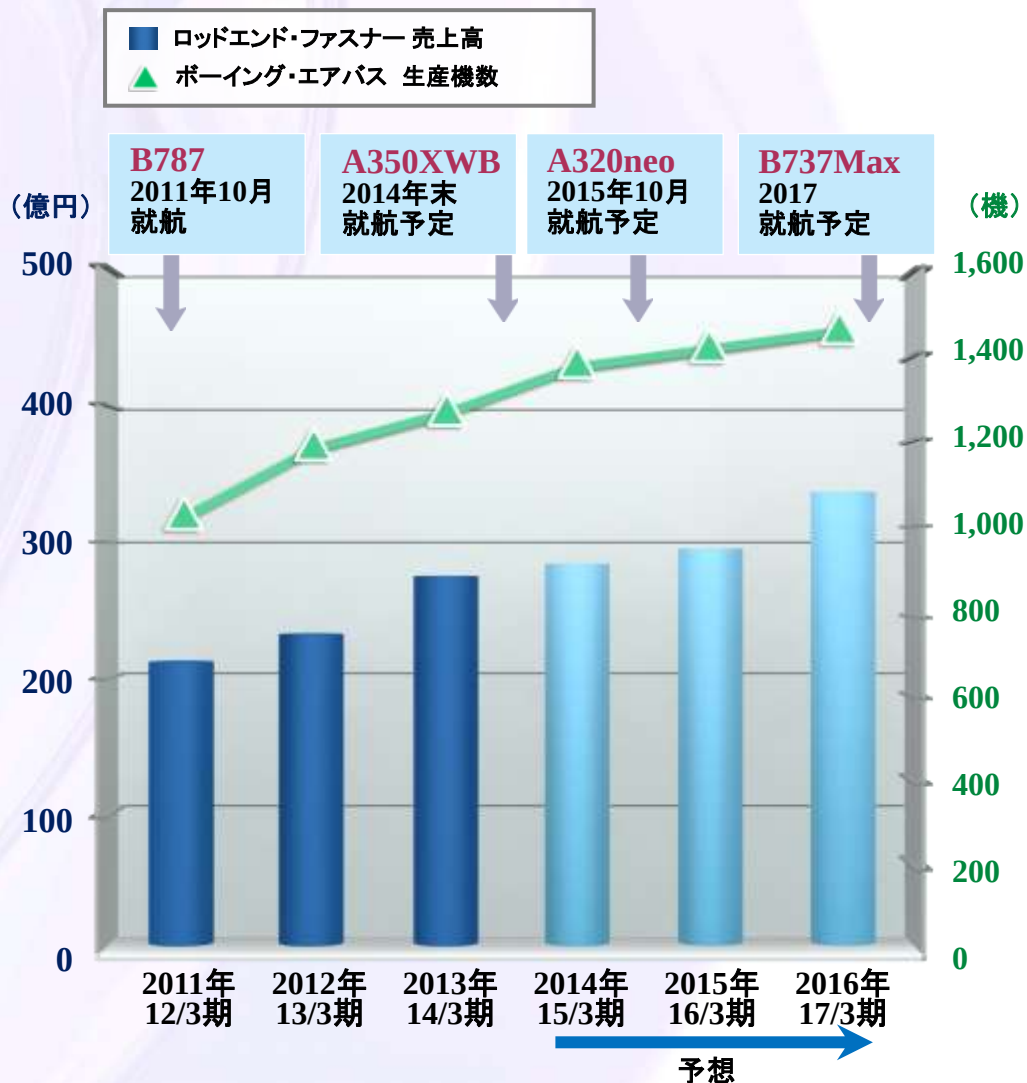


世界の航空機生産は 着実に増加傾向

- ・従来機種の安定した生産に加え、ボーイング787に続く省エネ型新型機(A350XWB、A320Neo、B737MAX等)の量産に向けて部品調達がスタート
- ・好調な受注を受けて、タイ・ロブリエ工場での生産能力を拡張し、日本・米国・英国工場からの製造移管を推進

セロベア社買収によるシナジーを目指し、セラミック製航空機部品開発にも注力

ボーイング・エアバス民間航空機出荷機数推移



(出所: ボーイング、エアバス、予想はミネベア)

NHBB/myonic事業部(セロベア含む)の概略

	ピーター ボロー工場 米国ニュー ハンプシャー	セロベア社 ドイツ ヘル ツォーゲンラート	マイオ ニック社 ドイツ ロイトキルヒ	チャッツ ワース工場 米国 カリフォルニア	新規北米工場	ビジネス 開発部
						
						
製品	大径ボール&ロー ラーベアリング	セラミックベアリン グ	ボールベアリング	小径ボールベアリ ング		
産業分野	航空宇宙	航空宇宙、食品飲 料、半導体 他	医療、歯科、産業 用	航空宇宙、歯科、 医療、産業用		
ターゲット 市場	エンジン & ギア ボックス、 ヘリコプター	エンジン & ギア ボックス、 ヘリコプター	医療、歯科、産業 用	医療、航空宇宙		
特徴・強み	ニッチサプライ ヤー、 複雑形状品 競争力、顧客重視	セラミック技術、複 雑形状品、 特殊素材 高い技術力	より複雑形状品、 特注品 歯科/IX線市場を リード、高品質	顧客重視のサービ スと価格提供 競争力、市場を リード		

LEDバックライトの急激な売上成長

ハイエンドスマホでシェア約70%

精密加工技術を駆使し、超薄型導光板で圧倒的な競争力

有機ELの脅威は後退

・製造コスト、寿命、高精細性などの点で、液晶の優位性が強まる

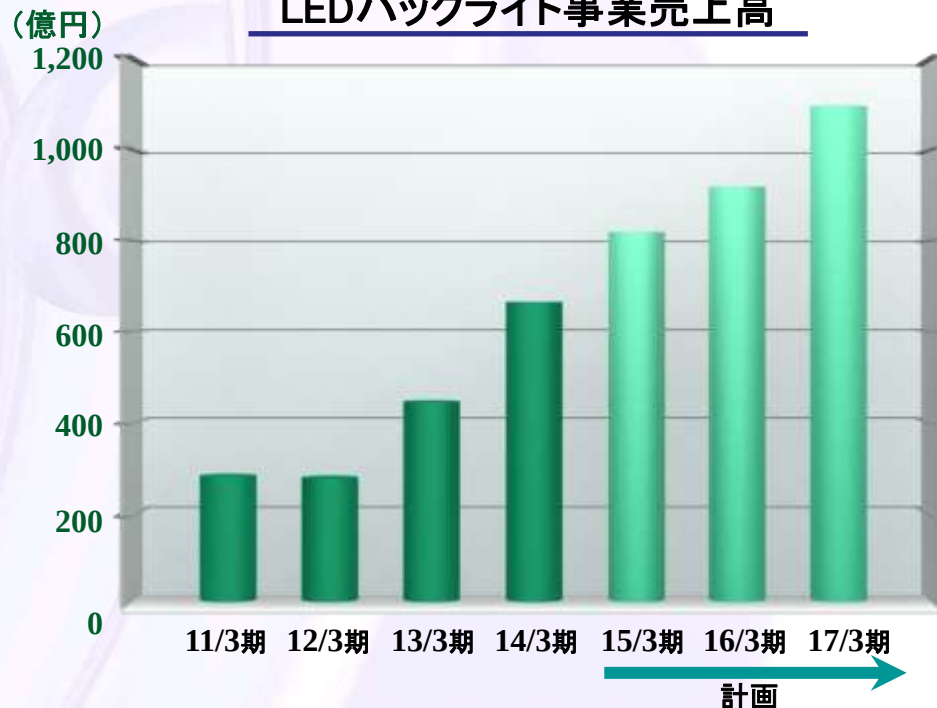
競争力、収益力の更なる強化

・更なる収益力の強化を図るため、
①生産平準化へ向け顧客層を拡大、
②半自動機導入やカンボジア生産拡大による人件費削減を行なう

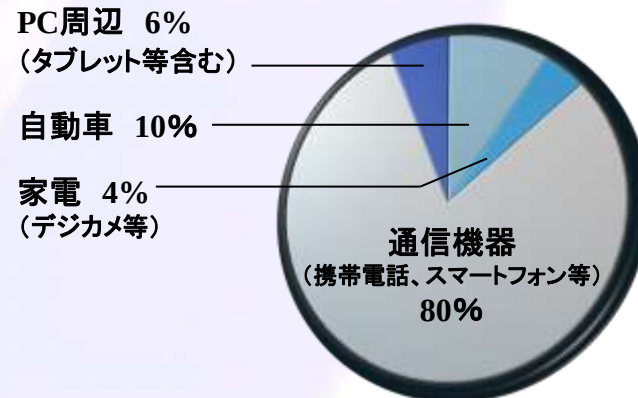
シェア上昇を受け、生産能力拡大

生産能力は、カンボジア拡張と西岑新設を中心に、1.5倍へ拡大

LEDバックライト事業売上高



LEDバックライトの用途別構成比 (2014.3期通期 売上高)



今期売上は計画超えを狙う 再来期は700億円へ

東京研究開発センターが本格稼動



最高経営責任者としてのミッションは？

一株当たり利益の向上

一株当たり利益の最大化を図り、
企業価値の向上を目指す

企業価値の
向上

ミネベア100周年のための基礎固め

経営資源の成長と確かな方向性を見極める

経営資源の
成長

ミネベアの勝利の方程式

ニッチ市場

+

高いシェア

+

高いマージン

高シェアを誇る製品群(当社推計による世界シェア)

- ・小径/ミニチュアベアリング 約60%
- ・ピボットアッセンブリー 約75%
- ・航空機用ロッドエンド 約50%
- ・有機ELを除くハイエンド薄型・スマートフォン用LEDバックライト 約70%
- ・ポリゴンミラーモーター 約70%
- などその他数々

将来に向け、強い事業を1つずつ増やす
複合部品は新たな展開へ！！

「5本の矢」はリスク分散を狙う100周年戦略

未来への種まき すべての貢献は3年以降を想定

ベアリングの外販 1億5千万個

ボールベアリングの外販を早期に月平均1億5千万個に引き上げる

複合製品の開発と拡販

TRDC(東京研究開発センター)などによるモーターを中心とした新しい複合製品・複合部品の開発、拡販をおこない、
“Electro Mechanics Solutions®”を更に加速する(®は日本の登録商標です)

照明器具関連製品の拡販

電子デバイス部門、技術開発部で開発した街路灯を含む照明器具およびその部品の事業基盤を早期に確立し、スマートビルやスマートシティで使用する部品・製品にも参入する

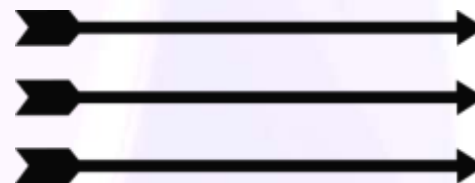
計測機器の売上、200億円

計測機器のセンサーとしての機能を再認識した事業戦略に基づき、計測機器関連製品の売上を早期に年間200億円程度に引き上げる

航空機部品事業の売上、収益拡大

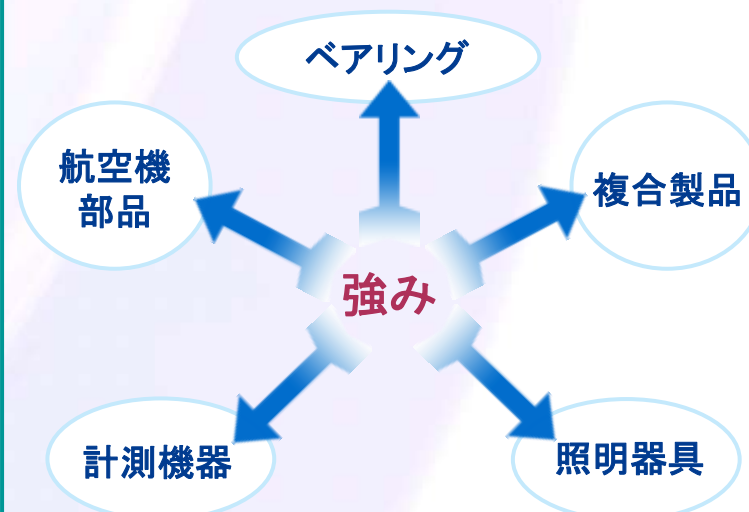
NHBBを中心としたロッドエンド事業などの航空機部品事業のグローバル・プレゼンスを生かしたシナジー効果の最大化により、航空機部品事業の売上、利益の大幅拡大を図る

毛利元就の3本の矢



3本束ねて力を強くする 集中の発想

ミネベアの5本の矢



5本を違う方向に放つリスク分散の発想

スマートシティ／スマートビルディング需要に向け、
3社合併(MIK Smart Lighting Network) をスタート

KOIZUMI



室内照明

シナジー

EYE IWASAKI



屋外照明



光学部品

Minebea
Passion to Exceed Precision



PARADOX
ENGINEERING
UNLOCKING THE VALUE OF YOUR DATA



電子部品

ワイヤレスネットワークソリューション

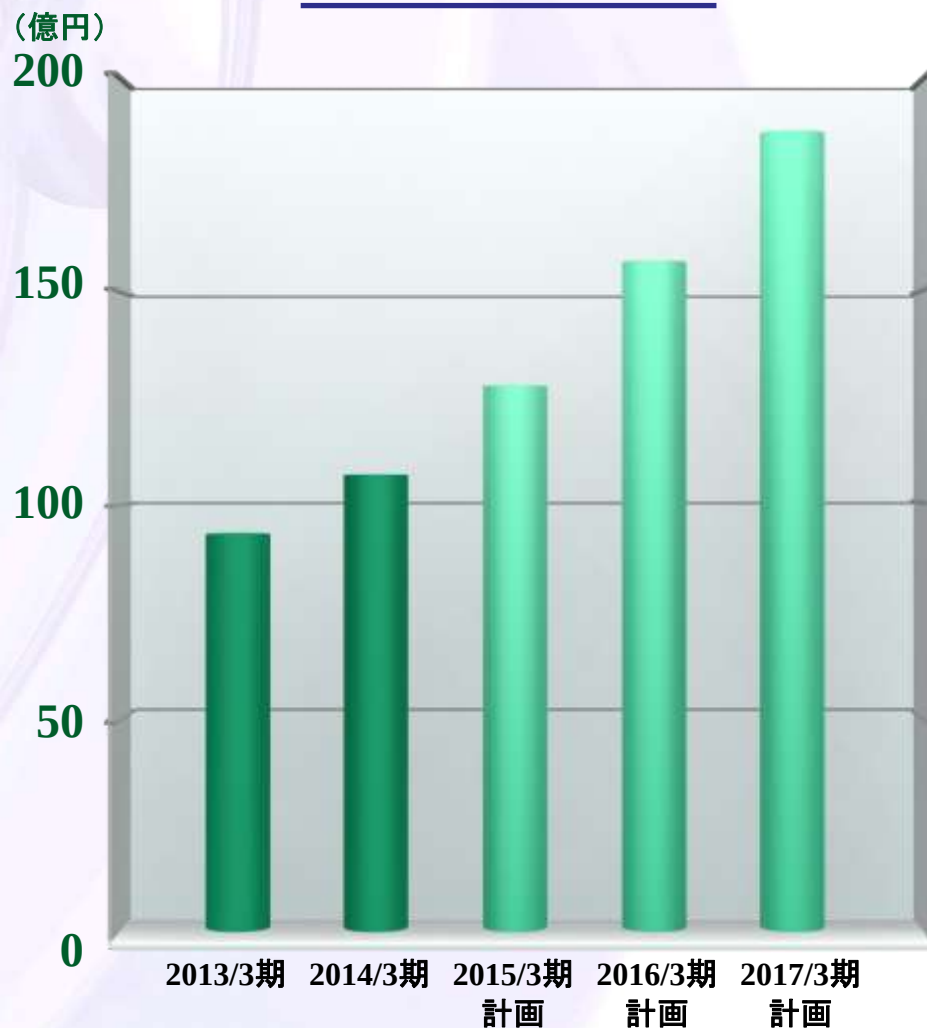
新規開発に注力

- ・これまでの単なるハカリではなく、
重さ/圧力センサーとしての機能を訴求
- ・プル型からプッシュ型への転換を進める

新規用途の可能性

- ①医療分野：介護用ベッド
 - ・所在確認の自動化
 - ・床ずれ防止の自動化
- ②ロボット分野：歩行姿勢制御
 - ・6軸センサーで足裏の荷重分布
＝バランスを測定（二足歩行）
- ③その他

計測機器事業売上高



収益拡大・設備投資の抑制でキャッシュフローが改善
余剰資金の使途は？

借入金

返済を進める

株主還元

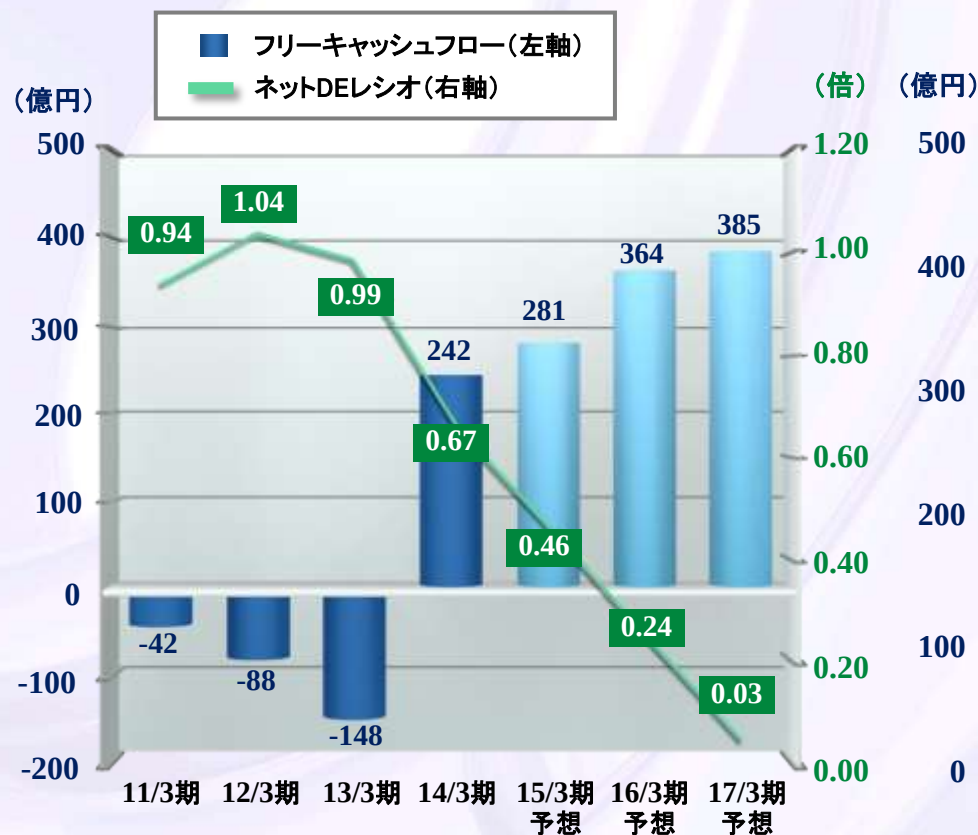
業績改善で増配を視野に
自己株式戦略の継続

M&A

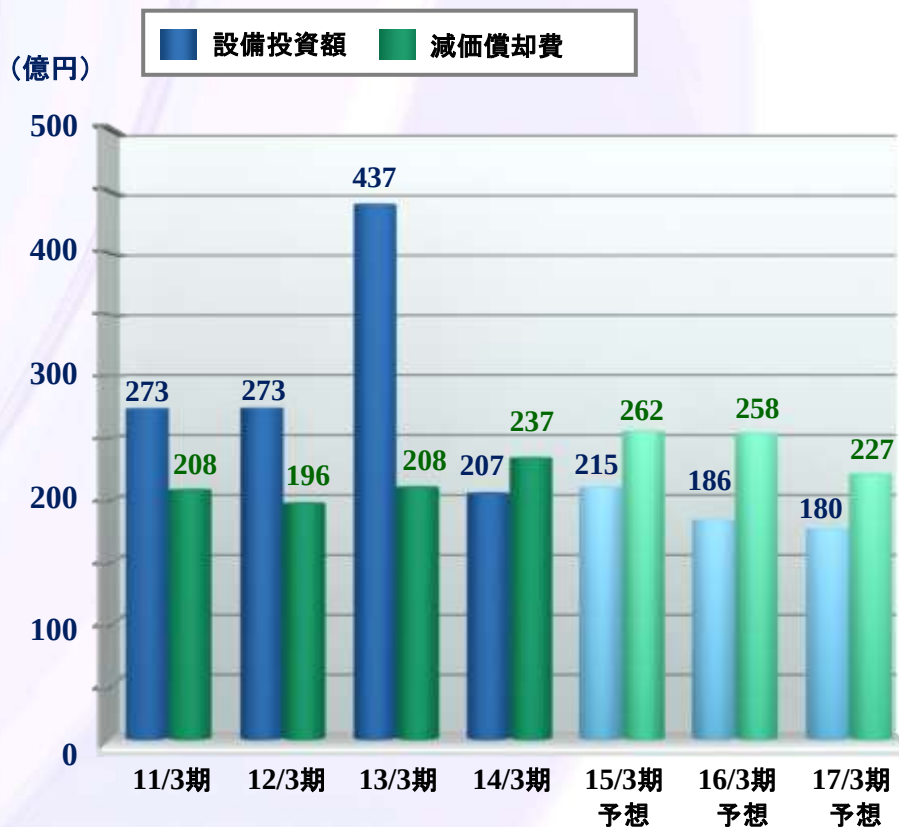
分野を絞って検討

ネットDEレシオは14/3期に0.67へ低下 今後も更に改善へ

フリーキャッシュフローとネットDEレシオ



設備投資額と減価償却費計画



配当方針

14/3期 期末配当 **5**円/株 計年 **8**円/株

15/3期 予想配当 中間配当 **4**円/株
期末配当 **4**円/株

- ・「当社は、経営環境を総合的に勘案し、継続的に安定した利益配分を維持しながら、株主資本の効率向上と株主へのより良い利益配分を第一義とし、**業績をより反映した水準での利益還元**をはかることを基本方針といたします」

自己株式戦略の継続

- ・経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行

分野や目標を絞った M&Aとアライアンスを検討

- 大規模M&Aについては、
あせらず慎重に対応する
- 中小規模のM&Aやアライアンスを含む、
機械加工品事業の強化を最優先で行う

ミネベア株式会社 決算説明会

<http://www.minebea.co.jp/>

上記説明会で述べられた内容のうち歴史的事実でないものは、一定の前提の下に作成した将来の見通しであり、また、それらは現在入手可能な情報から得られた当社経営者の判断にもとづいております実際の業績は、さまざまな要素により、これら見通しとは大きく異なる結果となる場合があります。

実際の業績に影響を与える重要な要素としては、(1)当社を取り巻く経済情勢、需要動向等の変化、(2)為替レート、金利等の変動、(3)エレクトロニクスビジネス分野で顕著な急速な技術革新と継続的な新製品の導入の中で、タイムリーに設計・開発、製造・販売を続けていく能力、などです。但し、業績に影響を与えうる要素はこれらに限定されるものではありません。

本資料に掲載のあらゆる情報はミネベア株式会社に帰属しております。手段・方法を問わず、いかなる目的においても当社の事前の書面による承認なしに複製・変更・転載・転送等を行わないようお願いいたします。